

平成20年の地域密着型金融の推進に関する取組状況

項 目	取組内容	成果
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化		
◎創業・新事業支援		
○群馬キャピタル2号投資事業有限責任組合を活用した新規性・成長性のあるベンチャー企業等への投資の実施	○将来性のある投資候補先発掘のための体制整備・強化 ・各種ベンチャーマーケット、産学官連携事業に参加 ・新分野に事業展開する企業・成長性の高い企業へ、営業店担当者との帯同訪問を実施 ・営業店からの情報収集力を高めるため、ファンド情報の取上げについてインセンティブを付与	○投資実績 ・20年度は実績なし 累計 14社／233百万円 ○株式上場実績 ・20年度は実績なし 累計 1社／30百万円 ○株式上場準備中 ・3社／43百万円
○地域力連携拠点との定期的な情報交換に基づく、新規開業・創業・経営支援のための融資実行	○県内地域力連携拠点6拠点のうち4拠点のパートナー機関となり、定期的な会議に参加しながら中小企業の支援と銀行取引の拡大の双方向を目的とした情報交換を実施 ○行内LANの「掲示板」に「産学官連携ニュース」を掲載し、全営業店に地域力連携拠点事業の活動内容を発信 法人営業推進チャンネルとして、中小企業への情報提供に活用 ○「ぐんま地域イノベーション創出協議会」および「群馬大学次世代エコ・エネルギーシステム研究会」に参画し、地域経済活性化に寄与すべく金融サービス面からの支援を開始	○群馬県産業支援機構が実施したM&Aセミナー（2か所）に対し、法人部から講師派遣を行い開催を支援 ○北関東産官学研究会が実施したセミナーに対し、（財）群馬経済研究所と連携し開催を支援。セミナーを通じて産学官の横の繋がりに幅を持たせることができた
○医療・食品・農業等有望分野への業種別担当設置による有望企業の発掘・育成	○有望業種分野 ・専担者配置（医療3名、環境1名、食品農業1名） ・専門知識を活かし取引先の支援及び新規取引先の開拓 ・開発型案件の発掘と情報収集力の強化 ○主な支援内容 ・建設業等異業種からの農業参入支援 ・病院・診療所の介護分野進出支援 ・診療所の開業支援 ・介護事業者の創業支援	○農業参入企業の販路拡大支援（展示商談会出展、個別マッチング） ○総投資予定額56.5億円のバイオマス発電プロジェクトファイナンス調印 ○診療所開業資金 45件／31億円 ○介護施設設備資金 31件／42億円

項 目		取組内容	成果
	◎経営改善支援		
	○経営改善計画の作成指導や、当行ネット網を活用した販路開拓などの経営改善支援の実施	○取引先のランクアップ推進 ○取引先のモニタリング強化 ○販路拡大に対する顧客ニーズに沿ったソリューションビジネスの提供	○債務者のランクアップ ・対象先306先に対し、78先のランクアップを達成 ・金融検査マニュアルの一部改正に基づく実抜計画先の支援を実施 ○債務者の中間管理強化策を実施 ・中間管理実施要領の制定による管理の体系化 ・格付・自己査定に関する管理体制の強化 ・要注意先以下にランクダウンした先の管理強化 ・正常先の月次業況管理強化 ○販路拡大を希望する取引先のビジネスマッチング契約への誘導 ・ビジネスマッチング成約 18先
	◎事業再生		
	○中小企業再生支援協議会やぐんま企業再生ファンド、DES、RCC再生スキーム等の手法を活用した事業再生への取組	○様々な手法に対応できるよう、外部機関との連携や研究を深めていく ○再生支援実績等の情報開示については、取引先の風評リスク等に留意し、慎重に対応	○「ぐんま企業再生ファンド」の活用による企業再生を実施（1件／7,887百万円） ○RCC再生スキーム活用による企業再生を実施（2件／1,520百万円）
	◎事業承継		
	○自社株評価の査定をはじめ、M&Aや新規株式公開等幅広い支援の実施	○当行本支店を通じた事業承継ニーズの発掘と情報収集 ○事業承継・M&Aセミナーや営業店後援会（経営者層）を対象に事業承継セミナーを行い、事業承継・自社株対策・資本政策の啓蒙活動を実施 ○営業店担当者との帯同訪問による、的確なニーズ把握と取引先に合った提案・アドバイスの実施	○事業承継ニーズの情報収集と関連実績 ・自社株評価実施件数 307先 ・個別相談、個別コンサル件数 310先 ・M&Aの取扱い 4件

項 目	取組内容	成果
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底		
◎担保・保証に過度に依存しない融資等への取組		
○債務者格付やスコアリングモデルに基づく無担保・第三者保証不要の融資や、動産・債権譲渡担保融資への取組	○債務者格付やスコアリングモデルに基づく融資や債権譲渡担保融資（保証協会制度融資）の推進 ○動産担保融資やノンリコースローン等、資金調達手段の多様化に向けた研究を進める	○債務者格付やスコアリングモデルに基づく融資 166件／1,284百万円 ○債権譲渡担保融資 48件／2,020百万円 ○ノンリコースローン 1件／173百万円
○中小企業の資金調達手法多様化への対応としてのシンジケートローン等への取組	○当行1行で対応できない設備投資等の大型融資案件に対し、シンジケートローンを利用した資金調達手段を積極推進し、中小企業の投資資金調達手段の多様化を提案	○組成件数 9件 ○組成総額 209億円
◎企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等人材育成への取組		
○「スキル認定制度」の活用による事業価値を見極める融資の実践できる人材の育成	○自己啓発によりスキルを習得する「スキル認定制度」の対象に「審査」と「法人営業」を制定し、行員の積極的な認定取得を促す ○「スキル認定制度」の認定結果を人員配置や行内外の研修派遣に活用	○スキル認定状況 ・審査 上級67名 中級125名 初級58名 ・法人営業 上級60名 中級207名 ○行外研修派遣の一部でスキル認定取得を前提とした公募制とし、認定取得への意欲を向上させた（対象研修：3講座、研修派遣者22名） ○審査、法人営業の認定取得者を法人推進店舗へ重点的に配置
○行内外の研修による、事業価値を見極める融資の実践できる人材の育成	○総合職は、入行後7ヶ月目から最低1年間融資係に配属し業務を経験させるとともに、融資基礎研修、融資スキルアップ研修を実施し融資業務の基礎を習得 ○融資役席の審査能力強化のため、外部講師招聘による研修を継続実施 ○地銀協研修への派遣を行い、専門分野の能力開発・コンサルティング能力養成を実施 ○社会生産性本部などへの行外研修派遣を行い、企業の将来性や技術力を評価できる人材を育成 ○中小企業診断士2次および1次試験対策セミナーの実施	○融資基礎研修 160名受講 ○融資スキルアップ研修 156名受講 ○融資レベルアップ研修 62名受講 ○企業調査講習会 19名受講 ○地銀協研修への派遣 41名受講 ○社会経済生産性本部への派遣 1名派遣 ○中小企業診断士2次試験対策セミナー 受講者 4名 2次試験合格者 3名 合格者を（社）中小企業診断協会の実施する実務補修へ派遣、実務補修終了し診断士登録 中小企業大学校へ1名派遣 ○中小企業診断士1次試験対策セミナー（21年1月～7月まで計12回開催） 39名受講中

項 目	取組内容	成果
3. 地域の情報収集を活用した持続可能な地域経済への貢献		
◎地域活性化につながる多様なサービスの提供		
○個々の取引先企業のニーズに対応した迅速かつ有効な情報の提供や様々な業種に対応した展示・商談会の実施等、各種イベントの開催	○GIAC(広域関東圏産業活性化センター)主催の地銀3行(群馬、常陽、第四)による合同ビジネス交流会開催(10社出展) ○「東京ビジネスサミット2008」への当行ゾーン出展(15社出展) ○地銀14行共催「フードセレクション2008」の開催(23社出展) ○「第2回ぐんぎん食の交流会」主催(154社出展) ○「第7回 医療・介護セミナー」(137名参加) ○「事業承継・M&Aセミナー」(103名参加)	○全般的な取組により、下記成果が得られた ・企業の販路拡大支援や情報交換の場を提供することなど企業に対する経営支援サービスの強化が図れた ・銀行主催のイベントであることから、販路開拓を目的とする参加企業にとって、相手企業の「見える化」に対する安心感を与えることができた ・セミナーにおいては、参加者が抱える経営課題の解決に役立つ情報を提供し、当行の経営支援機能の認知度も向上した
○「お客さまご意見カード」や「利用者アンケート調査」による意見収集の継続実施とお客さまのニーズに対応した様々な金融サービスの提供および利便性の向上	○サービスの質の向上に関する「お客さまへのコミットメント」の実施(公開方法:ポスターの掲示、ニュースリリース、当行ホームページへの掲載) ○ATMに通帳繰越機能を追加 ○コンビニATM利用手数料の無料化(平日時間内) ○個人顧客のキャッシュカードによるATMでの当行同一店内・本支店間の振込手数料を無料化 ○個人向け金融情報番組「グッドライフマガジン」の放送	○ATMに通帳繰越機能追加 81か店81台 ○個人のお客さまにとって関心の高い資産運用、資産形成などをテーマに、分りやすくお役に立つ金融情報を提供
○地公体等との情報交換や勉強会を通じたPFI事象の浸透や公共事業へのPFIの活用支援など、地域活性化への取組	○当行においてメガバンク主催の関連各部合同PFI勉強会を実施 ○群馬県内のバイオマス発電所建設事業において、プロジェクトファイナンス形態での資金調達手法に取組	○群馬県内におけるPFI導入の動きなし ○群馬県内の産廃業者が燃料供給業務において中心的な役割を担う「吾妻バイオマス発電事業」のプロジェクトファイナンスに関し、当行がアレンジャーとして、事業検証、ファイナンススキームの策定、参加金融機関の招聘活動等に取り組む。 平成21年8月シンジケーション方式で総額56.5億円の融資契約調印